

**一戸直蔵** 理想の天文台求めて排斥され、独力で科学雑誌を発行しアカデミズムを批判するも、過労死した。

いちのへなおぞう

大久保暗殺・1878 = 青森県西津軽郡越水村で、豪農の次男に生まれる。

**明治14年政変**1881 = 3歳：

吹原小学校に入学、学業優秀で向学心に燃えていたが、

**国民之友始**・1887 = **9歳**：

**帝国憲法発布**1889 = 11歳：卒業するも、父から上級学校への進学を許されず、

農業に従事するが、学問があきらめきれず、

郡司千島探検1893 = 15歳：\_ついに、家出し、青森の私塾を経て、弘前の東奥義塾に入学、

**日清戦争始**・1894 = 16歳：

**日清戦争終**・1895 = 17歳：上京し、塾長本多庸一が兼務していた青山学院予備科5年に編入されるが、進学のため、錦城中学に転じ、  
白馬会・・・1896 = **18歳**：\_仙台の第二高等学校に入学。

\_この間、父や親類の反対にあつて、学業を中断させられるも、母の密かな支援で続け、

**アノ国産化**・1900 = 22歳：\_東京帝国大学理科大学星学科に入学して、天文学を学び、

**日比谷公園**・1903 = 25歳：\_卒業。大学院に進み、東京天文台の助手をしながら研究を進めるが、国からは冷遇され自由な研究がしにくい官僚的体質に嫌気して、アメリカへの私費留学を決意し、

**日露戦争終**・1905 = **27歳**：\_大学院修了とともに、渡米、世界一の屈折望遠鏡のあるシカゴ大学付属ヤーキース記念天文台に留学。フロストに天体物理学を学び、有名な観測者バーナードやバーナムの指導を受けるとともに、ウィルソン山の  
**韓国反日暴動**1907 = 29歳：\_日本でも大望遠鏡をと、留学を中断し、富豪の当ても無いため、自ら造ろうと、アメリカやドイツのレンズ工場を訪ねるも不調に終り、やつれ果てて、帰国。東京帝大講師・東京天文台観測主任となる。

**アヲキ** 創刊・1908 = 30歳：\_日本天文学会の創立を推進し、機関誌(天文月報)の主筆をつとめ、この間、日本の占領下にあった台湾の最高峰新高山の山頂に観測所をと設計図まで作り、後藤新平に会って主張するも、無理だと言われるが、東京天文台移転計画で三鷹が候補地になると、唯一人断固反対するも、無視され、

**伊藤博文暗殺**1909 = 31歳：\_三鷹に決定し、土地も手当てされる。台湾に出張して、新高山山頂調査をし、

**大逆事件判決**1911 = 33歳：\_理学博士となる。再び、新高山山頂調査するが、寺尾寿台長との軋轢は頂点に達して、解任され、

**明治天皇没**・1912 = 34歳：\_理想とするイギリスの{ネイチャー}に倣い、科学啓蒙雑誌{現代之科学}を創刊するが、

**大正政変**・・・1913 = 35歳：\_内容が高度で売れず、経営難になるも、発行を続けるうち、天文台からも追放される。

**第一次大戦始**1914 = **36歳**：この年、三鷹の新天文台が着工となり、

**民本主義**・・・1916 = 38歳：\_肺結核を発病し、小田原近くに転地療養後も執筆活動を続けるが、

**ロシア革命**・1917 = 39歳：この年、新天文台が落成。

**大暴落**・・・1920 = 42歳：\_{現代之科学}誌に、かつて台長らにぶつかったことを詫げる文を遺し、没した。